

平成 30 年度第 1 回図書館協議会議事録

1 開催日時 平成 30 年 6 月 16 日（土）午前 10 時～12 時

2 開催場所 中央図書館 2 階視聴覚室

3 出席者

（委員）押樋委員長 小出副委員長 小野田委員 越村委員 豊永委員 立松委員
須賀委員 西村委員 伊勢田委員 高橋委員

（事務局）教育長 生涯学習部長 生涯学習部次長 中央図書館長 中央図書館副館長
総務係長 レファレンスサービス係長 総務係主査

4 傍聴人 1 人

5 議題

（1）報告事項

- ① 平成 29 年度利用統計及び事業報告について
- ② 平成 29 年度及び 30 年度図書館自己点検評価について
- ③ 中央図書館大規模改修事業について

6 議事の概要

（1）報告事項

- ① 平成 29 年度利用統計及び事業報告について、事務局より報告を行った。
- ② 平成 29 年度及び 30 年度図書館自己点検評価について、事務局より報告を行った。
- ③ 中央図書館大規模改修事業について、事務局より報告を行った。

7 会議経過

（1）報告事項

- ① 平成 29 年度利用統計及び事業報告について事務局より報告を行った。
その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

（意見）機会があればいいが、浦安市の人口の流動データを見せていただきたい。新規登録との関連性を知りたい。

（意見）ハンディキャップサービスというのがあるが、障がい者だけでなく、来館するのが困難な人も対象としているのであれば、名称を変えてはどうか。

（質問）宅配サービスを受けられる条件はどういうものか。過剰なサービスに

ならないか心配である。

(回答) 障がい者手帳がなくても、状況をよく聞き取った上で対象とする場合もある。一時的な怪我や病気は対象とはしていない。

(意見) ハンディキャップサービスという名称自体、障がい者以外の方へ門戸を広げるという意味合いの名称であろうかと思う。過剰にならないか心配とのことであるが、実際にサービスを行っていけば過剰なケースはわかるはずなので、多少過剰であってもよいと思う。むしろサービスを広める方が重要であると考ええる。

(意見) 職員数が減少していると思うが、その点も報告してほしい。マンパワーがないなら、外部の力を借りることも必要ではないか。

(回答) 昨年度末で2名が退職、2名が異動となり、本年度中に1名が退職して、現在正規職員は28名である。司書の資格を持つ非常勤職員は4名増員となり、24名である。

(意見) サービスは維持できるのか。

(回答) 人数は確保できているが、ベテラン職員が減って、新規の非常勤職員が増えている。現在業務の見直し、効率化に取り組んでいる。

(意見) 委員になって、業務の内容について職員の方とディスカッションする機会を得た。非常によく考えてやっているし、細かいことまで気を配っていると感じた。そういう努力している実態を、市民に披露するといいいのではないか。

(意見) 浦安の図書館は、歴代の館長が本を執筆したという全国的にも珍しい図書館。だが、意外と市民は知らないなので、市民にもわかるように発信をするとよい。

(回答) 特に大規模改修については、しっかりと発信していきたい。専門家である委員からの意見を伺い、質と量の兼ね合いが非常に難しいと感じた。今後も、開館時間の問題や質的サービスの問題など、アドバイスをいただきながら、図書館運営を行っていきたい。

(意見) ハンディキャップサービスという言葉は、差別的な意味合いを持つという風にも聞いている。図書館サービスの名称としてはどうなのか。アウトリーチサービス、などという言葉に置き換えてはどうか。

(質問) 創業支援セミナーというのはどういった事業なのか。

(回答) 商工会議所が主催で行う事業で、起業を目指す方向けのセミナーである。図書館から、調べ方案内等資料の提供や、起業に役立つ図書やデータベースの紹介等を行っている。

(意見) 公民館でも行事をたくさん実施している。講座に関連したコーナーを作るなど、図書館と連携できると良い。

(回答) 公民館で開催されているコミュニティカレッジでは、図書館から調べ方の案内を作成して配布したり、資料を紹介したりしている。今後、

他の講座にも広げていきたい。

(意見) 分館はすでに連携の取り組みをいろいろやっている。各公民館で定期的に行われている講座やサークルに合わせて展示をするだけでなく、選書も公民館の団体やサークルを考慮して行っている。

(意見) 浦安震災アーカイブとハーバード大学との連携について、「広報うらやす」にも載っていたが、図書館の事業であることがどこにも書いていなかった。

② 平成 29 年度及び 30 年度図書館自己点検評価について、事務局より報告を行った。

その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

(意見) ツイッターの取り組みについて、以前は類縁サービスのお知らせばかりだったが、最近はいろいろな情報が流れていて、感謝している。

(質問) ツイッターのフォロワー数は何人くらいか。

(回答) まだ 230 人程度である。

(意見) ホームページからのリンクを、もっとわかりやすくしてはどうか。

(回答) 平成 28 年度から始めているが、なかなか知られていない。登録時に名刺サイズの案内を渡しているが、あまり増えていない。今後は PR に取り組んでいきたい。

③ 中央図書館大規模改修事業について、事務局より報告を行った。

その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

(質問) 一般フロアの書架脇にあるスツールはなくなるのか。

(回答) 閲覧席ができるため、なくなる予定である。

(質問) 2 階は改修するのか。職員はどうするのか。

(回答) 2 階も改修を行う。全館工事を行うので、職員は別の場所に移って執務することになる。

(質問) 書庫の本は出せなくなるのか。

(回答) 分館に置ける分の本は活用できるが、保管した本については取り出しはできない。

(質問) 公園側からラウンジへの出入り口はできるのか。

(回答) 販売用窓口は作るが、出入り口は作らない予定である。

(質問) 大きく変わるのはワークスペースか。

(回答) その予定である。市民の活動に活用してほしいと思っている。

(質問) 自動貸出機は増やさないのか。

(回答) 現段階では増やす予定はない。

④ その他に表明された意見（質問）は次のとおり。

（質問） 子ども図書館の進捗について報告はないのか。

（回答） 4月から生涯学習課内に準備室が設置され、職員が4名配属された。本年度は基本構想策定懇談会および基本構想策定委員会を立ち上げる。懇談会には、学識経験者や市民の公募委員も入る予定。委員会には図書館長も委員として参加する。今後、アンケートや関係団体への聞き取り調査等を行っていく予定である。

以上